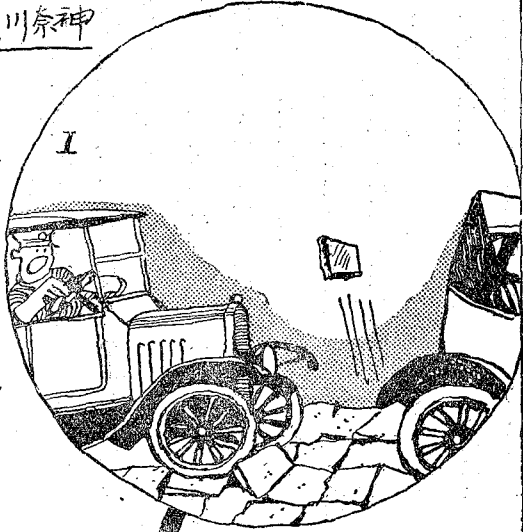


# 川神 呂 間 入 ッ 中 道 記

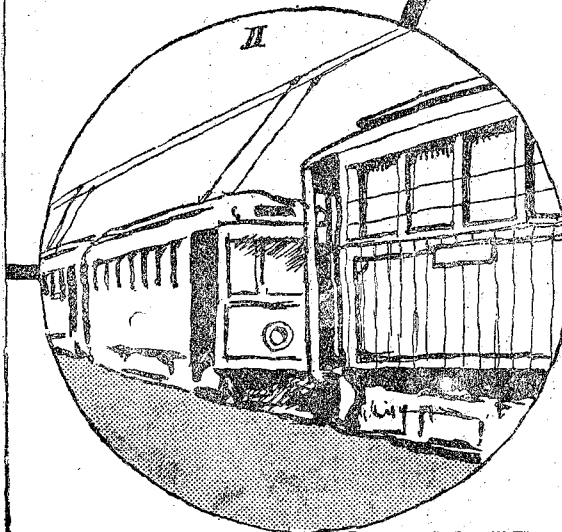
## I 帝都の電車道

芝罘亭から呂川停車場前までの間の電車の敷石が凸凹してゐた。危うい。はじめての自動車は勢で敷石一枚ハネ飛ばせると後の自動車さんでの事に横へ倒れさへ。運転手の大手柄で漸く停車……なんぞ帝都の電車道とてこれでは良へんのですか？



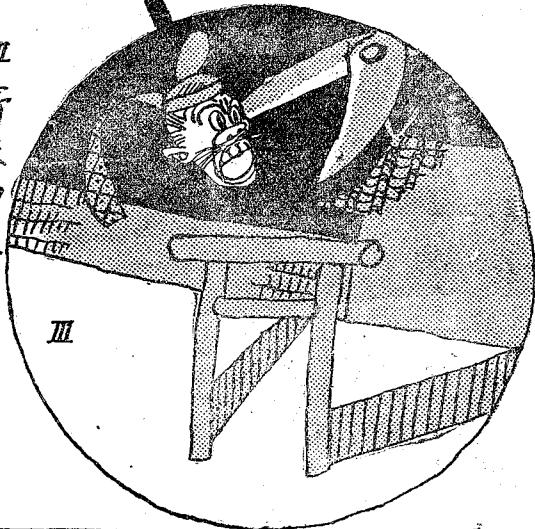
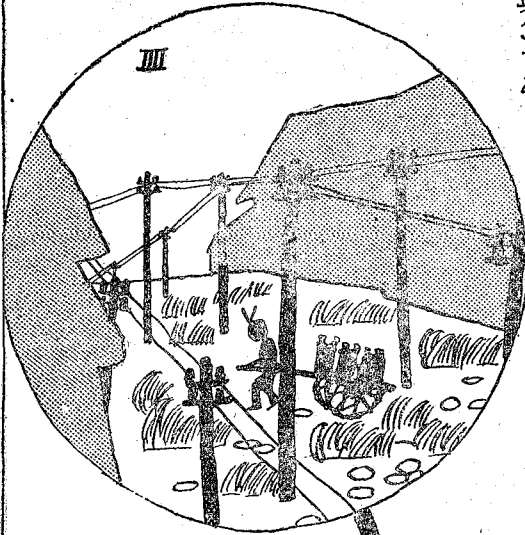
## II 電車長屋

ハツ山鉄橋のところで電車の珠数緊ぶ。京浜電車と市内電車とが同じ線路を使つてゐるので、なごつた。行く事も如何することも出来ない。鉄橋の上の電車の長屋は凡流どころか迷惑千万。



### Ⅲ 電柱の道路

大森から大御橋までの間 往來のマン中に電柱が  
 並んで立っている 驚くべき道路がある。 数分  
 の電柱で、其の左右にもまた電柱、左は東京電燈  
 右は逓信省のもので、あつて寸分がら電柱の爲の道  
 路のやいな気がする。 人間共は電柱に氣兼ねて  
 ソツと歩いてゐる。

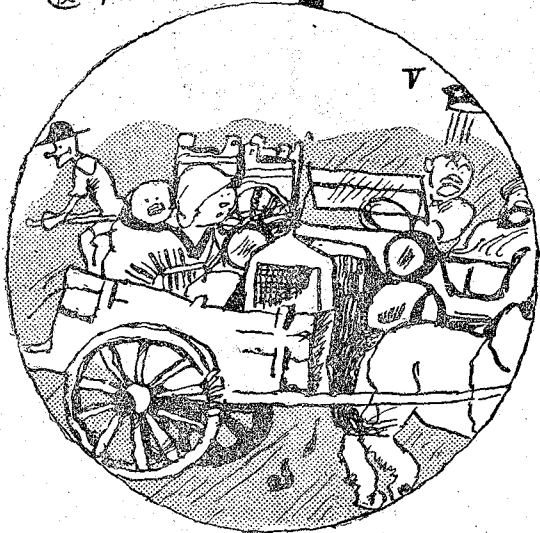


### Ⅲ 寄來神社

寄來神社と云ふのが大森の道路の中央に  
 突出して通る人に迷惑を掛け居る。と云  
 うが此の社の神主と言ふのが禰園作男で地元の  
 名おこ事を肯かへい、此人存のほお上の鉄  
 び千のキーンとやる外 仕方がないね。

六郷橋

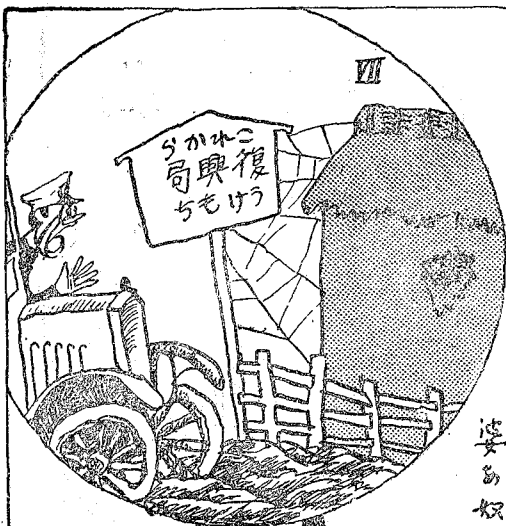
▽これでも國道  
 大郷橋から川崎市へ入る  
 此の辺は歩道と車道と  
 区別がはついで自動車も  
 通ればオワイ屋車も通る  
 と云ふに其の中を女子供  
 が歩いてゐるので危険千  
 万だこれでも國道には遠  
 いのか？



鶴見橋

Ⅳ これから後興局

鶴見から横浜へ入る境界線より先か  
 復興局の所持区域である、ほんの両手をこぼして  
 あるので道は凹凸自動車は中へ這入り  
 ない。運転手憤慨して曰く、何のザマだ、何  
 も仕事しちや居やしないや、何のザマだ、何  
 張子から斯んなに手が廻らねんか、怒張り  
 婆あ奴！、と



Ⅴ 電車の平面交又

鶴見橋と潮見橋との間に國道と平面交又し  
 てゐる海岸電車と云ふのがある、不意に電車  
 が横合から飛び出るので大がいの者は驚く。  
 せめて横振り足部一人づつお奮發して呉れんかナ

